

夏休み

家族で学ぼう！ 交通安全

小学生のみなさんへ

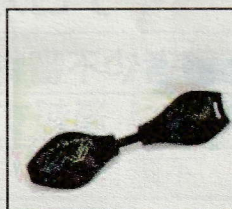
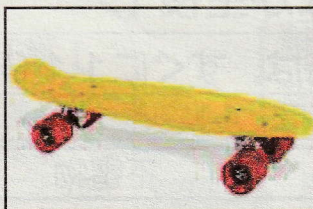


道路で遊んではいけません！

いよいよ夏休みですね！学校がお休みになるこの時期は、お友だちと遊びにでかけたり、習い事に通ったり、いつもよりも外に出かけるが増えますね。

道路には危険がたくさんあります。道路は車や人が通るところですから、道路では遊ばない。そして、交通事故にあわないように交通ルールを守りましょう。

キックスケーターやスケートボードなど、道路で乗ってはいけません！



公園や広場など、安全な場所で遊びましょう！

自転車^{じてんしゃ}のルールを守りましょう！

自転車^{じてんしゃ}は車の仲間^{くるまのなかま}です。止まれ^{とまれ}

信号^{しんごう}や標識^{ひょうしき}を守り、ヘルメット^{まも}をかぶって、安全なスピード^{あんぜん}で走りましょう。

指導のポイント

お子さんの乗り方を実際に見て、危険箇所の確認や乗り方のマナー、ルールを親子で確認しましょう！安全確認の方法（右・左・右・右後ろの確認）、正しいブレーキのかけ方（左・右）、交差点では必ず止まって安全確認できるように習慣づけてください。



道路^{どうろ}を渡る^{わた}ときは

道路^{どうろ}を渡る^{わた}ときは、絶対^{ぜったい}にとびださない。

青信号^{あおしんごう}で渡る^{わた}ときでも、右左^{みぎひだり}をよく確認^{かくにん}して、車が来ていないか、車が来ていたら、ちゃんと止まったかを確かめ^{たし}てから渡り^{わた}ましょう。

指導のポイント

信号が青でも一度止まる、車の動きを確認する、自分の存在をドライバーにアピールするために、しっかり手を挙げて渡るようにしましょう。どこに危険が潜んでいるのか？お子さんと一緒に道路での危険を探してみましょう。



保護者のみなさまへ

お子さんを交通事故から守るためには、大人が手本を示して、繰り返し、繰り返し子どもの身体に染み付くまで交通ルールをよく理解させることが大切です。生活圏内で危険な場所を子供の目線に立って一緒に確認し、なぜ危険なのか、どうすれば安全なのかを教えてあげてください。